



Smithsonian Conservation Biology Institute
Migratory Bird Center

AUGUST, 2021



2021年度 バードフレンドリー認証レポート

住商フーズ株式会社
www.scfoods.co.jp

今年は「いかにこのコロナ禍に適応するか」が我々スミソニアン渡り鳥センター（以下SMBC）のテーマでした。フィールドワークや社内会議の開催も限られ、同僚や家族と離れ離れの生活を強いられた1年でした。しかしながら、このような不安な日々が続く中でも、世界中の人々は新たな楽しみ方で鳥たちを鑑賞するようになりました。

パンデミックによって家で過ごす時間が増えたことで、窓の外にいる鳥たちの美しさや複雑さを観察し、感動を覚える機会も増えました。

我々SMBCも充実した1年を過ごすことができました。

新たなパートナーシップを築き、いくつかの新プロジェクトを開始しました。

カワラヒワ、コモン・ナイトホーク、クロツラナガシラについての調査では、これまで知られていなかった生態が明らかになりました。

この調査結果は、今後これらの種の鳥たちの保護に大きく貢献します。

また今年「Bird Friendly program」と「Migratory Connectivity Project」は、研究と保護活動を拡大するための資金を過去最高額調達することができました。

カリフォルニアのチャンネル諸島とニューハンプシャー州ハバード・ブルックの森林で行っている長期的な研究は、引き続き小規模のフィールドチームで継続しています。

ネイバーフッドネストウォッチプロジェクトでは様々な制限を乗り越えて、2シーズンのフィールド活動を行い、鳥たちの秘密の生態を発見することができ、ワシントンDCにてこの調査結果の発表も行いました。

この年間レポートは、過去18ヶ月間の研究、保護活動、市民への普及活動の一部をまとめたものです。

我々が渡り鳥たちの繁栄に寄与できる特権に感謝し、皆さまも同じように繁栄される事を願っております。

SMBCの活動並びに「Bird Friendly program」をいつもご支援頂き、誠に有難うございます。

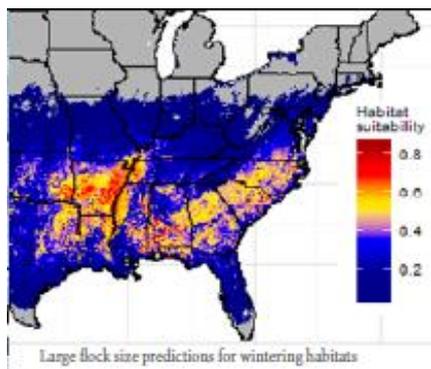
スミソニアン渡り鳥センター 所長

T. スコット・シルレット (T. Scott Sillett) 博士



習性

鳥たちの習性・旅路



人間

人間活動が鳥に与える影響



気候

気候変動に対する鳥の適応



減少する渡り鳥の保護

北米で最も個体数の減少が激しい種の一つであるクロムクドリモドキ。この減少は、アメリカ南東部の都市開発により彼らの越冬地が減少した事が原因とされています。SMBCは“eBirds”アプリを通じて市民から冬の生息地のデータ(目撃情報)を収集し、より効率的に越冬場所を保護する活動をしています。

海鳥の研究で受賞

SMBC所属の博士率いる海鳥の研究チーム(MiCO)は、“2020 Ocean Award in Innovation”を受賞しました。

2019年以来、海鳥400種の生態に関する、55カ国、10万ヶ所以上のデータを扱い、海洋の生物多様性維持に貢献した事が評価されました。

ゴイサギの越冬：100年の謎解明

ゴイサギはこれまで冬の間を目撃される場所が定まらず、越冬地の詳細が不明でした。今回SMBCの研究者らの大規模研究の結果、長年謎だった越冬地の特定に成功しました。キューバ、ホンジュラス、ニカラグアで越冬する集団が多いものの、開発などで毎年環境が変わり、越冬地を点々としていた模様です。安定した越冬の為に、これらの地域の自然保護が急務です。

35,000人

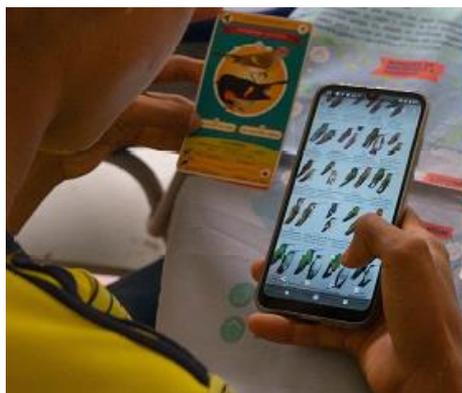
これまでプログラム
に参加した生徒の数

342人

研究に参加した科学者の数

70,000ドル

2016年から集められた資金



生徒に向けた学習プログラム

アメリカ、ニカラグア、コロンビアの生徒に向け、オンライン学習を通じてそれぞれの文化を交換するプロジェクトを行いました。3か国から500人が参加し、渡り鳥をテーマにした様々な授業や活動を行いました。1993年の開催以来、メキシコ、グアテマラ、ベリーズ、エルサルバドルなどからも35,000人の生徒が参加しています。



バードハウスのリノベーション

1928年にスミソニアン動物園内に建てられたバードハウスが、渡り鳥たちの移動の魅力を最大限に伝える国内唯一の大規模展示場に2022年春、生まれ変わります。バードフレンドリープログラムを受けたコーヒー農園に関する展示やカフェ、ギフトショップ、観察室なども併設される予定です。



巣の観察プログラム

2021/22期のフィールドシーズンを終え、342件以上の民家の裏庭に訪問し、都市化によって生態圏にどのように影響しているのかを調査しました。スタッフによって収集されたデータはSMBCの科学者に渡され、研究に役立てられています。

15,200Ha

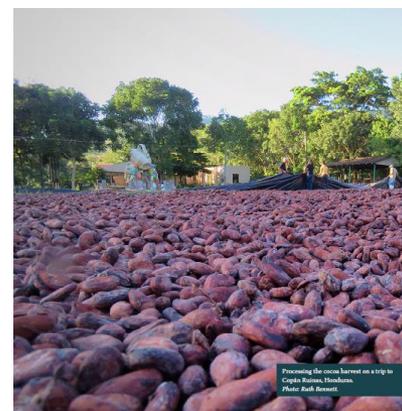
認証されている農地の広さ

5,100名

認証に参加している農園主の数

1,780種

認証農園を利用する渡り鳥の数



シェードツリーのカタログ

World Coffee Researchと協働して、インドネシアの農園向けのシェードツリーカタログを作成しました。現在認証農園がないインドネシアでのBF認証開始や、現地の生物多様性維持に繋げる事が目的です。2022年には、ペルー向けに同様のカタログを作成する予定です。

絶滅危惧種保護策の実行

生物多様性のホットスポットと言われるベネズエラで、絶滅危惧種に指定されているショウジョウヒワの保護プログラムを実施しています。BF認証取得農園を含む約40の農園で生産されたコーヒーの、ベネズエラ国内での売上の一部を、ショウジョウヒワの生息地と個体数の回復活動に活用します。

BF認証カカオへの挑戦

コーヒーに加えて、カカオ農園へのBF認証付与が開始されます。SMBCのベネット博士が主体となり、コーヒー農園と類似した認証基準を整備し、渡り鳥の休息地を守る活動をしています。現在はドミニカ共和国にて渡り鳥の調査とカカオ農園の認証取得支援を実施しています。



Smithsonian Conservation Biology Institute
Migratory Bird Center

